

## 祝 辞

中島ロータリークラブ40周年記念  
国際ロータリー第2610地区

ガバナー 炭 谷 亮 一



中島ロータリークラブ創立40周年、心よりお祝い申し上げます。  
昨年、貴クラブへのガバナー訪問の際には、永谷会長をはじめ、会員の皆様に温かく迎えていただき本当にありがとうございました。  
貴クラブは、和やかな雰囲気非常にまとまりの良いクラブであるとの印象を持ちました。

永谷会長が、会長幹事懇談会で最初におっしゃった40周年の記念事業として会員全員が米山功労者に、そしてポール・ハリス・フェローになるとのお話に大変驚きました。私の記憶の中では、地区内では初めての試みではないでしょうか。  
米山記念奨学会と、ロータリー財団の事業の趣旨と意義を良く理解された偉大な周年事業だと思います。

その他に、地元中島図書館に図書購入のために30万円寄付されるとのこと。  
地域社会への貢献大なるものがあり敬意を表したいと思います。

さて、国際ロータリーでは、21世紀においてロータリーは、世界に冠たる「奉仕組織」にならなくてはならないといっています。  
そして、地域においては、地域の人々に必要とされる存在にならなくてはならないと言っています。貴クラブは、まさにここ七尾中島の地元の人々に必要とされる「奉仕組織」として認識されつつあります。

40周年を起に、更なる確固たる「奉仕組織」となるために努力されることと思います。国際ロータリーは人間の琴線に触れる「超我の奉仕」と第一標語として高く掲げ、世界の200以上の国と地域に約122万人余の「有能」な会員を有する巨大組織が100年以上継続し、拡大し、光り輝き続けています。貴クラブのように、「奉仕の理想」を追い求めるならば、ロータリーは今後も栄光の歴史を歩み続けることと考えています。  
最後に、貴クラブの益々のご発展とご活躍を祈念いたします。

おめでとうございます。